

家庭学習の手引き(5,6 学年)

小学校の学習は、将来社会人として自立していくための基礎となります。

学校での学習を定着させるには、家庭学習の習慣化がとても大切になります。ご家庭と協力し、子どもたちが学習習慣をきちんと身に付けていく手立ての一つとして、この手引きを作成しました。

低学年では20分程度、中学年では40分程度、高学年では60分程度の学習を目指します。

ご家庭の皆さまのご協力をお願いします。

1 勉強の前に

- ◎ 机や学習場所の整理をしましょう。
- ◎ ほかのこと(音楽を聴く・テレビを見るなど)をしながら、勉強しないようにしましょう。
- ◎ 姿勢を整えて、集中して学習を始めましょう。



2 宿題のしかた

国語	音読	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者や作者の意図など内容を考えながら読む。 ・物語文では、情景を思い浮かべながら、感情を込めて読む。
	漢字	<ul style="list-style-type: none"> ・字形や筆順、へんやつくりを意識して書く。 ・国語辞典や漢字辞典を手元に置き、様々な読み方や意味・熟語を覚える。 ・習った漢字を使って、短文作りをする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない問題は、教科書やノートを見てふりかえる。 ・式とともに図や絵を使って考えを書きまとめる。 ・単位や小数点などに気をつけて解く。 ・計算式や筆算を消さずに残しておき、終わったら必ず見直しをする。 	



3 自主学習にチャレンジ!

国語	読む	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を利用し、読書の幅を広げよう。 ・読みおわったら、内容についての感想を書いてみよう。 ・辞書や事典を引き、わからない言葉の意味や新しい漢字を調べよう。
	書く	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを、自分の言葉や文章でまとめよう。 ・まちがった漢字をくり返し練習しよう。 ・詩や俳句などを作ってみよう。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・計算力を伸ばすために、くり返し計算練習をしよう。 ・プリントや宿題でまちがった問題を、もう一度解いてみよう。 ・一度解いた問題を、自分の言葉で説明できるように、文と図や式を使ってまとめよう。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科や理科などで学習したことを復習し、まとめよう。 ・これから学習することを予習しよう。 ・関心を持ったことについて深めたり広げたりしてみよう。 ・テストに向けて学習しよう。 	



4 勉強の後に



明日の時間割や持ち物を確認しよう。

保護者の方へ

～家庭学習の習慣を着実に定着させる時期です。自主性の尊重を!～

励ましの声をかけてください。そして、積極的にアドバイスをお願いします。